

国立山口徳地青少年自然の家 教育事業
徳地アドベンチャー教育研修会Ⅰ
「よりよい集団・チームづくりに活かす」
平成27年6月20日(土) ~ 6月21日(日)

体験の風を
おこそう



【ねらい】 徳地アドベンチャープログラムの体験を通して、仲間が思いをひとつにして、みんなで決めた目標に向かって進んでいけるチームをつくるための手法を学ぶ。

【参加者】 男性31名 女性14名

【講師】PAJトレーナー 門田卓史氏

【プログラムの内容】 6月20日(土)
10:00 開講式
10:30 セッション1 学びの環境づくり
13:00 セッション2
18:30 セッション3

6月21日(日)
9:00 セッション4 ハイエレメント
13:30 セッション5 ふりかえり
15:00 閉講式

セッション1 学びの環境づくり



開講式 参加者には、お互いに知らない人が多い中、緊張感が広がっていた。体験を通して、「集団の成長を実感」「TAPの理念について理解」「実践する意欲を高める」を意識してもらった。

自己紹介・目標設定



一緒に活動するメンバー同士で一人ひとりの目標の確認と自己紹介



初めて出会った人と気持ちよく活動するためにグループの規範づくりを行った。

セッション2, 3 笑いあえる環境づくり



グループごとに失敗が許し合える環境づくりを行った。



セッション2, 3 ローエレメント体験



エレメントを活用した課題解決に取り組んだ。

セッション4 ハイエレメント体験



1本のロープで仲間に支ってもらい一人ひとりが自分の目標に向かって挑戦した。

セッション5 ふりかえり



グループでの活動をふりかえり、気づきを共有して次の活動につなげていった。

【参加者の声】

- ひとつの声かけで受け取る側の視点がまったく違ってくるのが体験を通してわかった。
- 初めて出会った人との活動だったが、活動する中で人からの気遣いがうれしかった。
- 自分の一言が受け取る人に影響する可能性があることを考えて子どもに接していきたいと思った。
- よりよいチームをつくるためにどうしたらよいかを考えることができてよかった。一つひとつのプログラムで学ぶことが違ったが、最後にはまとまった感じがよかった。

【成果】

- セッション1から5までのすべてのTAP体験を共通体験したグループで、ふりかえりの活動まで行ったことは、参加者が同じグループで共通して体験した内容とTAPの理念をつなげて考えてもらうことができた。

【課題】

- TAPの理念を参加者によりわかりやすく伝える手法を考える。

【今後の展望】

- PAJのトレーナーを講師として招聘せずに、本所の企画指導専門職で研修会を実施していきたい。